

社協だより*とうかい

—東海村社会福祉協議会が目指すもの—

「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」



▲今日もおもちゃが運ばれてきました



▲おもちゃについて聞かせてください



▲修理方法の会議中



▲わーい!ありがとう!



おもちゃクリニックとうかいは、児童センターでおもちゃの点検と修理をしています。受付時間は、毎月第2・第4火曜日の午前10時半～11時半です。
また、エンジョイサマースクールでの工作指導や、東海村子ども科学クラブ講座の企画・講師派遣も行っています。子どもたちとふれあう機会が多いボランティア活動です。



ボランティアしてみませんか?

ボランティア市民活動センターには、112のボランティア団体が登録されています。今回は登録団体の一つ、おもちゃクリニックとうかいをご紹介します。活動を始めてなんと10年！継続の理由を聞くと、「子どもたちの笑顔がやる気の源ですね」「自分の趣味とちょうど合っています」と答えてくれました。現在は会員募集中で「子どもが好きな人はぜひ！技術は後から付いてきます」と明るく話していました。

ボランティア活動に興味がある方は、ボランティア市民活動センターへお気軽にご相談ください。皆さんの趣味や特技を生かしてみませんか。

【問い合わせ】 ボランティア市民活動センター ☎283-4538

Contents

村松北区世代間交流 開催	2
地域交流のお手伝いをします!	2
地域支え合い体制整備事業について	3
住まいるリセットプロジェクトのご案内	3
社協情報局	4・5
地域共生社会実現推進シンポジウム	4
食料寄付ありがとうございます	5
平成29年度法人会員報告	6
11・12・1月寄付報告	7
であい閉所のお知らせ	8
児童センター図書室紹介	8
不要になった学用品を募ります	8

村松北区では子ども会の役員を、地区社協ふれあい協力員や、高齢者クラブなどの地域団体が担うかたちで、平成22年に子ども会が復活しました。その後の活動は村松北区内のほとんどの事業を地区社協・自治会・高齢者クラブ・子ども会が協働で実施し、三世代での交流を図っています。

今回の世代間交流も、ふれあい協力員から子ども会役員へと声がかかり、地域住民・子どもたち・子育て世代の一層の交流を深めることを目的として、実施されました。

当日はハンドベルの演奏を聞いたり昔遊びをしたり、昼食はお母さんたち手作りの豚汁が振る舞われ、三世代それぞれ楽しみながら交流しており、たくさんの笑顔が見られました。

参加していた子育て世代の方からは「普段、地域の方と交流することは少ないのでこういった機会は子どもたちにとってもありがたい」、「子ども会の役員が大変で入るのを渋っているという声はよく聞く。地域の人たちが役員をやってくれると助かる」といった声があがっていました。

今後もぜひ継続していただきたい活動です。



▲初体験のゲートボール



▲折り紙を教わり上手にできました



▲狙いをさだめて！入るかな？

村社協が貸し出した輪投げも大活躍♪

地域交流のお手伝いをします！

村社協では、地域交流の活性化を目的に福祉器材の貸し出しを行っています。地区社協事業や子ども会の集まり、企業イベントなどにいかがでしょうか？また、社協会員への貸し出しも行っております。

福祉器材で地域の“絆”を深めましょう！！



ニュースポーツは大人も子どもも楽しめます♪



お祭りなどではイベント機材が大活躍！



貸出物品紹介

【ニュースポーツ】

- ・グラウンドゴルフ
- ・輪投げ（室内用／室外用）
- ・ストライクナイン
- ・オーバルボール
- ・バスケットビンゴ
- ・健康麻雀

【イベント機材】

- ・綿菓子機
- ・ポップコーン機
- ・かき氷機
- ・テント（大・小）

【研修会用機材】

- ・プロジェクター
- ・スクリーン（大・小）
- ・DVDプレイヤー

【その他】

- ・屋外テーブル
- ・パイプいす

他にもいろいろな器材があります！ぜひお気軽にお問い合わせください。

※ご予約は貸出日の3カ月前から電話や窓口で受け付けております。

【申し込み・問い合わせ】 地域福祉推進係 ☎283-4538

昨今、生活困窮やひきこもりの問題など、世帯が抱える生活課題は複雑多様化しており、従来の制度・サービスだけでは対応が困難な状況が増加しています。これらの課題を抱えている方の生活を支えていくためには、その方が実際に生活を送っている地域住民の理解・協力が不可欠となります。地域の方と専門職と一緒にこれらの課題について考え、話し合う場を持つことによって、どちらか一方的が役割を担うのではなく、より良い連携の形が築かれていきます。

上記の実現に向け、現在東海村では、調整役となる「支え合いコーディネーター」を中心に、地域における話し合いの場の整備を進めています。話し合いの場は、全村域（第1層）・小学校区圏域（第2層）・自治会圏域（第3層）のそれぞれで行える形を目指しており、現在第2～3層の整備に取り組んでいるところです。この話し合いの場は、新規に発足する形だけでなく、既存の集まりを活用するという形もあります。村社協のコーディネーターが出前講座等を通じて地域での説明を順次行っていますので、要望や不明な点があればお気軽にお問い合わせください。



▲普段のサロン活動の一角で地域課題解決に向けた話し合いを実施した例（ふれあいカフェ南台）



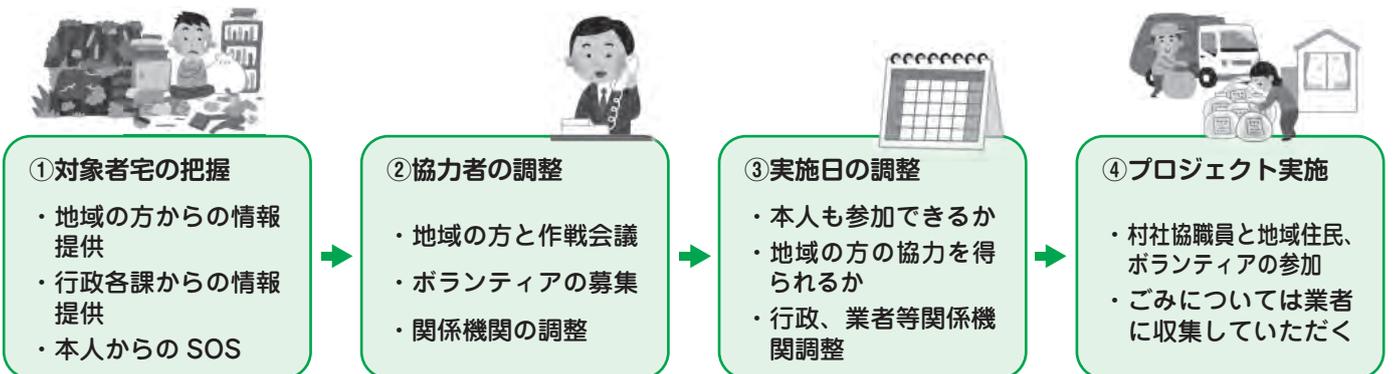
住み慣れた地域・住居で
安心して生活を続けていくために

～住みいるリセットプロジェクトのご案内～

「住みいるリセットプロジェクト」は、生活困窮や地域での孤立など特別な事情により適切な住環境を整えることが困難である世帯に対し、地域住民・専門機関などの協力を得て、適切な住環境を整える作業を協働で行う事業です。

ゴミ屋敷の問題は、単にゴミの処分方法を確立すれば良いわけではなく、そこに住まう当事者のことを周囲の環境も含めて考えていく必要があります。そのため、行政サービスなどの決められた制度のみで対応することが困難であり、ボランティアや専門機関などの協力を得るなど、制度の枠に捉われない柔軟な取り組み・連携が必要になります。また、当事者に対しても、専門職が相談支援を行うことで、片付けに対する動機づけや行動へつなげるお手伝いをします。村社協がさまざまな相談を受ける中でこのような相談件数が近年増加していることと、当事者の相談支援、地域や各関係機関との連携調整に慣れていることから、当プロジェクトの発案につながりました。

事業の実施にあたっては、当事者との相談やボランティアへの協力要請、地域への説明など、一定の要件を満たす必要があります。相談から事業実施までの流れについては以下のフローチャートのとおりです。事業実施の際には、現在村社協に登録いただいている個人ボランティアの方々にも協力依頼をすることがありますので、ボランティア登録・活動に協力くださると幸いです。事業に関心がある方は生活支援ネットワーク係までお問い合わせください。【問い合わせ】生活支援ネットワーク係 ☎283-0205





障害者センター

ボランティアに支えられて

障害者センターでは、多くのボランティアの皆さんの協力を得て支援を行っています。例えば、民話だっぺの会の皆さんには毎月2回、本の読み聞かせや紙芝居などを行っています。長年の活動を通じて利用者の集中力が養われ、少しずつ落ち着いてお話を傾けられるようになりました。また、調理実習には杉の子会、水戸友の会、民生委員・児童委員、利用者の保護者の皆さんの協力を得ています。どのようにしたら安全に調理できるか工夫し、丁寧に関わっていただいています。

【問い合わせ】 障害者センター ☎283-4599



▲お話を集中して聞いています



▲手を添えて包丁も使えます

生活支援ネットワーク係

ひきこもりを考える地域の集い 参加者募集

村社協ではひきこもりを地域全体の問題と捉え、住民と専門職が適切に関わりながら、共に考えていくために講演会を開催します。

ひきこもり経験者の生の声を聞くことができる貴重な機会となります。ぜひふるってご参加ください。

- 【日時】 平成30年3月1日（木）
午後1時半～午後3時40分
- 【場所】 総合福祉センター「絆」ボランティア室
- 【定員】 先着50名
- 【講師】 常磐大学人間科学部 みずぐち すずむ 水口進 教授 他
- 【内容】 講演

『なぜ人はひきこもるのか』
当事者インタビュー
『わたしたちがひきこもりから社会参加できたきっかけ』

【申し込み・問い合わせ】
生活支援ネットワーク係 ☎283-0205

東海村におけるつながりを 深めるための一歩を踏み出しました

～地域共生社会実現推進シンポジウム～

1月17日（水）、「人と人がつながり合う持続可能なまちづくり～東海村における地域共生社会の実現を目指して～」と題した地域共生社会実現推進シンポジウムを開催しました。このシンポジウムは、東海村におけるこれまでのさまざまな取組みと残されている課題を共有すると共に、行政・社協・関係機関・住民それぞれの立場で今後の役割や地域共生社会の姿を描き、持続可能なまちづくりを推進することを目的に開催したものです。

冒頭、厚生労働省ごとう しんいちろうの後藤 真一郎専門官から現在国が進めている施策についてわかりやすく説明をいただいた後、山田 やまだ おさむ 修東海村長、ケアプランセンターとうかひの深谷 ふかや しんご 真吾管理者、中丸地区社会福祉協議会の叶井 かのう いみの 実会長をシンポジストに、後藤専門官のコーディネートのもと、活発なディスカッションが展開されました。

山田村長からは「今を考えることも大切だが、これからどうしていくべきかを考えたい」、深谷管理者からは「さまざまな専門職がつながり、共に考え創造する新たなシステムづくりが必要」、叶井会長からは「気づいてからでは遅い。住民と専門職、行政が同じ方向を向いて動き出すことが大切」といった意見が出され、それぞれの立場でできること、今後やらなければならないことを明らかにすることができました。

参加者からは「東海村に最後まで住んでいたいという思いを確認した。自分も楽しみながら地域の中で手を取り合うため動きたい」といった感想も寄せられ、新たなつながりの萌芽を感じる1日となりました。



▲後藤専門官による基調講演



▲活発な議論がされたシンポジウム



平成30年度水中体操教室 (前期) 募集!

高齢者と障がい者の健康維持を目的とした水中体操教室を開催します。

- 【日 時】 4月～9月末までの各日(全20回)
- 【場 所】 総合福祉センター「絆」機能回復プール
- 【対 象 者】 村内在住の概ね40歳以上の方
- 【内 容】 水中でのウォーキングや体操など
- 【参 加 費】 9,000円/人
- 【申込期間】 2月13日(火)～2月26日(月)まで



【その他】

- ▼申込には身分証明書(免許証等)をご持参の上、「絆」までお越し下さい。
- ▼応募多数時は抽選となります。
- ▼電話での受付はいたしません。

【問い合わせ】 総務管理係 ☎282-4300



平成30年度介護予防健康 体操教室(前期) 募集!

生活動作機能の維持や、転倒防止のための重要な筋肉を鍛え、脳トレを行うことにより神経細胞を活性化し、これを継続することで、健康維持につなげることを目的としています。

- 【日 時】 4月～9月末までの火曜日(全18回)
- 【場 所】 総合福祉センター「絆」多目的ホール
- 【対 象 者】 村内在住の概ね60歳以上の方
- 【参 加 費】 3,000円/人
- 【申込期間】 2月19日(月)～3月2日(金)まで



スマッシュ!! 卓球楽しいよ

児童センター支援室には卓球台があります。支援室が空いているときはいつでも卓球を楽しめます。1グループ20分のお約束ですが、次の利用者がいないときは延長して行くこともできます。

卓球台は高さがあるので、小学生以上のお子さんの利用となっています。

親子で対決したり、お友達同士で打ち合いをしたり、汗を流してみませんか。ラケットやボールも用意してありますので手ぶらで卓球が楽しめますよ。

ぜひ卓球もできる児童センターへ遊びに来てください。



▲ネットにかかった



▲スマッシュ!

お約束

- ・お菓子やジュースの飲食はご遠慮くださるようお願いいたします。
- ・出窓に座ることは大変危険です。出窓には乗らないようにしましょう。

食料寄付ありがとうございます。

村社協には「生活費がない」「食べ物がない」という相談も寄せられます。そういった方を支援するために、日頃から食料寄付を受け付けています。

年末にはたくさんののし餅を寄付していただきました。こうした季節ものの他、寄付でいただいた食料品は村内在住の生活にお困りの方へお渡ししています。

助け合い・支え合いの気持ちを広げて「もったいない」を「ありがとう」へと変えていきませんか。

【問い合わせ】

生活支援ネットワーク係 ☎283-0205



平成29年度法人会員報告

このたびは、格別のご高配により村社協法人会員にご入会いただき感謝申し上げます。今後とも、本会事業へのご理解・ご協力をお願いいたします。

社協会員制度とは

村社協は、「かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり」という基本理念のもと、地域住民の助け合い活動や生活にお困りの方の支援など、さまざまな福祉活動を展開しています。社協会員制度は、このような村社協の基本理念や趣旨に対する理解を深めていただき、村社協が行う地域に根ざした福祉活動に参画していただく（会員として、社協事業へのご意見をいただいたり、協働で事業を行うなど）仕組みです。皆さまからの会費は、地区社協事業や福祉教育・体験学習などに役立てられます。

○法人会員○

(敬称略・順不同)

50,000円 (宗) 村松虚空蔵堂

30,000円 東海村環境整備事業協会

(株)ピーンズクリーンサービス、(有)川崎産業、(有)東海環境サービス、(有)東海共同企業、フジワクリーン、村松衛生社

20,000円 (有) 高野好見豊店

10,000円

JA常陸、茨城特殊車輛(株)、うどん市 村松店、川崎グリーンサービス 川崎好孝、検査開発(株)、原子燃料工業(株)東海事業所、佐藤石油(株)、月村歯科医院、デンキプラザ マツモト、東海村水道事業協同組合、東康建設工業(株)、日本スタンダード(株)、橋本機工金物(株)、東興機械工業(株)、東成工業(株)、東原クリニック、ひたちなか薬業(株)、武藤小児クリニック、山藤鉄工(株)、新やんしゅうばんや八角、(有)サンキ、(株)岩手製作所東海、(株)関東技研、(株)澤畠設計開発、(株)燦食、(株)常陽銀行 東海支店、(株)タスコポーレーション、(株)筑波銀行東海支店、(株)照沼商事、(株)東海住宅、(株)平成興行、(株)伊藤鑄造鉄工所、(株)岩谷空圧、(株)大興建設、三菱原子燃料(株)、積水メディカル(株)創薬支援事業部、(有)小林文具店、(有)サンタクシー、(有)常東タクシー、(有)東関東サービス、(有)豪建

5,000円

(医) アルカディア・イースト 植村整形外科クリニック、(医) 村松会 尾形クリニック、(一財) 高度情報科学技術研究機構、(一財) 放射線利用振興協会、(一社) ハピネス東海、(社福) 聖隷会 (すみれ)、Yショップ須藤、Yショップひらの、あかつ歯科クリニック、赤津ハウス、アクモス(株)、石川歯科医院、伊藤デンタルクリニック、いばらき印刷(株)、茨城県信用組合東海支店、いばらきコープ生活協同組合、(医) (社) いばらき会いばらき診療所とうかい、エーテック(株)、大西建設(株)、大仁建設(株)、カスタマシステム(株)、(株)三建工業、環境保全事業(株)、元祖 札幌や東海店、グリーンパーク二軒茶屋、原子力エンジニアリング(株)、こいずみ歯科医院、後藤オート販売(有)、後藤製作所、さくら屋旅館、三陽塗装工業(有)、清水屋酒店、(社福) 愛信会 幸の実園、(宗) 村松大神宮、スタジオ フィール、セブンイレブン東海駅西店、大成産業、玉喜屋菓子舗、東海眼科、東海クリニック、東海建機(株)、東海ゴルフ、東海自動車(株)、東海スポーツ、東海農工、東海村観光協会、東京ガスエネルギー(株)、特別養護老人ホームオークス東海、トラットリア パラン、(特非) ドリームたんぼぼ、日本アドバンステクノロジー(株)、ニュークリアデペロップメント(株)、沼田屋旅館、ねもと薬局、東豊建設(株)、常陸警備保障(株)、ファミリーマート東海駅東店、(特非) まつぼっくり、三国屋建設(株)、水戸信用金庫 東海支店、村松歯科医院、茨城工販(株)、(株)葵テック、(株)阿久津工務店、(株)アセンド、(株)アトックス東海営業所、(株)アドバンス、四季菓子ヴィラージュ、(株)オーヌキ、(株)小名浜包装資材、(株)関東総建、(株)佐藤工務店、(株)ジェー・シー・オー東海事業所、(株)鈴木ハーブ研究所、(株)せいみや、(株)テイエムケイ、(株)照沼勝一商店、(株)東陽印刷所、(株)トータル・サポート・システム、(株)ナイス、(株)ナスカ、(株)橋本農園、(株)日立金型技研、(株)フジタビジネスマシズ、(株)前田工業、(株)原子力セキュリティサービス、佐藤石炭、住友金属鉱山(株)、中央労働金庫大みか支店、東海村建設業協同組合、(有)SKライフ 読売新聞店 東海センター、(有)アイエスアイ、(有)おその江、(有)カメラのアトム商会、(有)菊本住設、(有)ゴウザワ (お食事処いこい)、(有)寿屋河野商店、(有)杉山、(有)東海河野石油、(有)トキワ交通、(有)成田整体治療院、(有)日本建商、(有)松山金型技研、(有)美川商事、(有)宮本ソーイング、(有)武藤工業、(有)亜細亜警備保障、(有)信栄電気

善意銀行11・12・1月分の寄付報告



皆さまからお寄せいただいた善意は、村社協が行う福祉事業や在宅福祉機器購入に充てられます。

善意銀行 金銭の部 (敬称略・受付順)

ご芳名	預託金(円)
東海村盆栽連盟	10,000
東海二八蕎麦の会	10,000
東海村文化協会山草連盟	10,000
佐藤 雪	10,000
東海村文化協会技芸連盟	11,750
水戸友の会	5,000
東海村商工会女性部	10,000
ピーンズクリーンサービス	1,759
原電総連東海総支部	16,975
匿名 3件	12,600

とうかい明日への架け橋基金募金

※この募金は東海村の子どもたちのために活用されます。(敬称略・受付順)

ご芳名	金額
真崎地区自治会	5,000
匿名 3名	125,682



▲原電総連東海総支部



▲東海村教育友の会

善意銀行 物品の部 (敬称略・順不同)

ご芳名	預託品	活用先
菅野 敬子	折り鶴	児童センター
吉田 佳代子	子ども服、制服	地域福祉推進係 生活支援ネットワーク係
黒沢 アヤ子	電気スタンド	生活支援ネットワーク係
東海村教育友の会 (退職公務員連盟・退職校長会)	タオル類、衣類、布団類、おもむつ、洗剤類、日用品類	生活支援ネットワーク係 障害者センター 高齢者センター
佐藤 雪	ベビーベッド	村松宿こども園
市毛 満	のし餅	生活支援ネットワーク係
原電総連東海総支部	車いす	総務管理係
佐竹 尚子	CD・MDプレイヤー	児童センター
匿名 24件	湯呑、将棋セット、オセロ、カーテン、座卓、タオル類、時計、日用品、ラジカセ、布団類、衣類、彫刻刀、本、紙おもむつ、洗剤、コルクボード、フォトフレーム、クリスマス飾り、スタンプ類、ハンガー、座布団、電気スタンド、衣料用洗剤、トランプ、布団カバー、文房具一式、メガネクリーナー、おもちゃ類、カセットテープ、乾麺、砂糖、おこめ券10kg分、冷蔵庫	高齢者センター 生活支援ネットワーク係 児童センター 障害者センター

使用済み切手・ベルマーク・未使用テレホンカード・未使用はがき・書き損じはがきなど (敬称略・受付順)

ご芳名
(株)東海住宅、菅野 敬子、池田 誠仁、吉成 智枝子、(有)トキワ交通、三国屋建設(株)東海支店、東海村福祉保険課、日本原子力発電(株)、(株)アトックス、篠原 登、日本スタンダード(株)、(株)堀田電機製作所、東海村住民課、和以美(株)東海営業所、(株)葵テック、橋本機工金物、東海村農業委員会、全日本年金者組合、金澤 百花、匿名(6件)

寄付をお願いします

アンパンマンのピアノ、トーマスのおもちゃ、リカちゃん人形一式、書き損じはがき、クレヨン、バスタオル、シーツ、Tシャツ、洗たく用洗剤、台所用洗剤、電気スタンド、電動鉛筆けずり、東海中・南中学校の制服やジャージ、学校使用の裁縫道具、習字道具、彫刻刀、スニーカー(23cm~26cm)、新品のノートや鉛筆などの学用品、大人用のスウェット(上下)、ルーペ、タオル、MDプレーヤー、自転車、紙おもむつ(子ども用)、ミキサー

※できるだけ状態の良いものをご寄付いただけると幸いです。

【問い合わせ】 総務管理係 ☎282-2804

～フードドライブで寄付していただく食品～

「フードドライブ」とは、いただきものや買いすぎてしまったものなど、ご家庭に眠っている食品を集め、食の支援を必要としている方へお渡しし有効に活用する活動です。

- ◎お米 ◎麺つゆ ◎パスタソース
- ◎カップ麺 ◎スポーツドリンク
- ◎保存食品(缶詰・瓶詰など)
- ◎ふりかけ・お茶漬け・のり
- ◎インスタント食品・レトルト食品
- ◎ギフトパック(お歳暮・お中元)など

※未開封で賞味期限が2カ月以上残っているもの

【問い合わせ】 生活支援ネットワーク係 ☎283-0205



各種相談窓口



	日時
生活相談	月～金曜日 午前8時半～午後5時15分 専用電話 ☎283-0205
家計相談	月～金曜日 午前8時半～午後5時15分 専用電話 ☎283-0205
弁護士 相談	3月2日(金) 午前10時～正午 予約制(1組約20分) 予約開始: 2月1日(木)から先着6組
行政書士 相談	3月9日(金) 午後1時～3時 予約制(1組約30分) 予約開始: 2月13日(火)から先着4組
子育て 相談	月～金曜日 午前9時～午後4時 専用電話 ☎306-1017

※相談会場: 子育て相談は、児童センター
それ以外は、総合福祉センター「絆」内の相談室
【申込み・問い合わせ】
東海村社会福祉協議会 (代表) ☎282-2804

縁側につどう家 “であい” 閉所のお知らせ

縁側につどう家“であい”につきましては、平成30年3月末日をもちまして、閉所する運びとなりました。豊白地区をはじめ地域の皆様や関係者の皆様には大変お世話になり、また、ご協力いただきましたこと深く感謝申し上げます。

なお、ケアプランの作成や介護保険に関する相談を受ける居宅介護支援事業所につきましては、4月より総合福祉センター「絆」に事務所を移転し引き続き事業を実施してまいります。

【問い合わせ】

東海村社会福祉協議会
居宅介護支援事業所 ☎283-3410



図書室に新しい本が仲間入り ソリティアも大人気



児童センターの図書室には絵本やママ用雑誌が取り揃えてあります。今回は歳末たすけあい募金を活用し、絵本10冊と大型絵本3冊を追加購入しました。子どもたちが見やすく、楽しくて、ほのぼのとした物語が満載です。ぜひ、親子で新しい本を楽しんでください。さらに毎日午前11時40分と午後2時半からの2回、読み聞かせを行っています。大型絵本や、紙芝居、パネルシアターなど、ワクワクドキドキ!子どもも大人も楽しめますよ。

また図書室のテーブルでは色々なゲームもできます。夏休みからはソリティアという盤ゲームが大人気。ゴルフボールを盤上に並べ、飛び越したボールから一つずつとり、残ったボールの少ない方が勝ちという簡単なゲームで、幼稚園年長の子もたちもお母さんを巻き込んで夢中になって遊んでいます。

皆さんもぜひ挑戦してください。



児童センター クイズ

図書室には気球がいくつあるでしょうか?

ヒント:
図書室の天井を見たらわかるよ



不要になった学用品の寄付を募ります

これから卒業シーズン、ご家庭で不要になった学用品はございませんか。

東海中・南中の制服やジャージ、セカンドバック、柔道着等、中学校で使用するものの寄付を募っています。今年度卒業する方からのご寄付はもちろん、これまでご家庭に眠っていたものでも大歓迎。できるだけ、状態の良いものをご寄付いただくと助かります。

寄付していただいたものは、経済的に困りのお家庭へお渡しし有効に活用させていただきます。

【問い合わせ】

生活支援ネットワーク係 ☎283-0205



▲東海中、南中学校の制服・体操服



▲学校使用の学用品等

社協だよりに関するご提案・ご意見がございましたら、お気軽にお寄せください。

【発行】 社会福祉法人東海村社会福祉協議会 〒319-1112 那珂郡東海村村松2005 Tel. 029-282-2804(代表) Fax. 029-283-4535 (ホームページ) <http://www.t-shakyo.or.jp/> E-mail: tokai@t-shakyo.or.jp Facebook 公開中!

～じぶんの町を良くするしくみ～ 社協だより「とうかい」は、共同募金の助成金により発行しています。

